

経済文教常任委員会 (2月26日開催)

1. 調査事項

(1) 青葉団地公営住宅の建設計画について

- ・建設計画期間 平成20年度～23年度の4カ年
- ・平成20年度12戸、平成21年度8戸、平成22年度8戸、平成23年度8戸
- ・鉄筋コンクリート造2階建36戸
- ・型別住戸 3LDK26戸、2LDK10戸
- ・全体事業費の概算(解体、設計等含む) 7億2,500万円

(2) 公の施設に係る指定管理者による運営実績について

- 新十津川町青年会館(指定管理者 新十津川町青年団体連絡協議会)
 - ・18年度収支状況
- | | |
|----|-----------|
| 収入 | 14万1,505円 |
| 支出 | 11万9,070円 |

- ・利用状況
- 平成17年度 235人
- 平成18年度 369人

○新十津川尚武館(指定管理者 新十津川尚武会)

- ・18年度収支状況
- | | |
|----|------------|
| 収入 | 105万2,788円 |
| 支出 | 103万2,600円 |
- ・利用状況
 - 平成17年度 7,472人
 - 平成18年度 8,401人

○新規就農者技術修得センター(指定管理者 ピンネ農業協同組合)

- ・19年度運営実績
- 育苗部門：メロン、スイカ、ミニトマト、長葱、ハーブなど4万3,746本を供給し、約790万円売り上げ



教室：農業簿記パソコン教室
実施

研究調査：平成19年度産学官連携経営革新技術普及強化促進事業(食の安心・安全の確保に対応した施設園芸のポジティブリスト制度

対応) の実施

(3) 学校給食の安全性と国内産食材の使用実績について

・中国産食材の取り扱いについて
今回、冷凍ギョーザで問題になっている中国天洋食品が製造した冷凍食品は使用していない。冷凍食品に使用されている食材については産地の確認を行って使用している。
レトルト食品については、マッシュルームの異臭騒ぎを受け、安全が確認され道教委の指示があるまで使用しない。

・学校給食センターの対応と今後の給食費について

国内産の冷凍ギョーザを使用しており今後も国内産食材を使用していく。石油の高騰が波紋を呼び様々な食品の値上げが予定されているが、当面は創意工夫を重ね安全・安心な給食提供に努め、現状の給食費で対応していきたい。

2. 報告事項

(1) 平成19年度除排雪の状況について

2月20日現在で、579cmの降雪量があり、降雪日数は68日、積雪深116cm、除雪出勤回数34回と平年より少ない。

(2) 平成20年度の主要工事計画について

- ・工事発注予定件数 33件(建設課関係15件、それ以外の課18件)
- ・予算現額 4億4,764万3千円

(3) 平成20年度産米生産数量の配分と酒米の動向について

- ・配分面積 3,440ha(前年比△15ha)
- ・配分数量1万9,366t(前年比△153t)
- ・酒米の動向 平成19年産吟風(酒米の品種名)の生産数量6,866俵の販売状況は、雪の花酒造400俵、福司酒造500俵、日本清酒5千俵、残りは日本盛へ販売した。

(4) 平成20年度産地づくり交付金について

平成20年度転作物、実績交付、担い手対策等に支払われる交付金は次のとおり。
・交付金本体部分 2億6,557万2千円

- ・新需給調整システム定着交付金 1,278万5千円
- ・合計 2億7,835万7千円

(5) 平成20年度農業農村整備事業の概要(農業基盤整備)について

- ・区画附帯工事一式 5地区
- ・区画面積 47.1ha
- ・客土 5.0ha
- ・暗渠 202.5ha
- ・用排水 11.15km
- ・調査設計 2地区
- ・総予算額 13億700万円
- ・全体進捗率 90.5%

(6) ポイントカード(とくとつぶカード)による公共料金収納制度について

しんとつかわポイントカード会が発行するポイントカードで、町税や町公共料金の納付ができることになりました。
・納付できる場所 役場会計課窓口
・対象公共料金等 役場会計課窓口で納める公共料金のすべて